



交差する歴史と神話  
みやざき発掘100年

霧島山系

宮崎県埋蔵文化財センター通信

ひら 14号



高原高校

調査面積：1,400㎡  
主な検出遺構：竪穴住居5軒  
貯蔵穴7基  
遺跡の主な時代：縄文時代後期

ひらの

広原第1遺跡（西諸県郡高原町（高原高校敷地内））～連綿と続く霧島火山の噴火活動

広原第1遺跡では、数百年にわたって噴火が続いたといわれる高千穂峰由来の牛のすね火山灰が1m堆積しています。その間には、屋久島北北西方向の海上にある鬼界カルデラが約7,300年前に爆発した時の鬼界アカホヤ火山灰がバックされています。非常に硬い上部牛のすね火山灰層を基盤にして、所狭しと竪穴住居や貯蔵穴が造られていました。

見つかった貯蔵穴は、断面がフラスコの形をしていて、底にいくほど広くなっています。90cmほどの深さがあり、食物を保管する今の冷蔵庫のような役割を果たしていたと考えられています。中には、土器や石器、炭化した種や実が入っていました。何の種類なのか、ただ今分析中です。

\*牛のすね は都城市の地名（牛之腰）です。



貯蔵穴を縦半分にした様子（女性の身長は160cm）

## 山の幸、川の幸に恵まれた北戸びとの暮らし

遺跡名 中畑遺跡

所在地 延岡市北方町蔵田辰

遺跡の時代 縄文時代後期～晩期、古墳時代後半期

五ヶ瀬川中流域の左岸、小さな尾根の先端で縄文時代後期の遺跡が見つかりました。石鏝(せきぞく)、石鏝(せきすい)、石匙(いしきじ)といった豊富な石器とともに、多くの土器が出土しています。土器を伴う配石遺構は珍しい例です。縁に開まれた高台で、山や川に出かけたり、方仕事をしながら暮らしていた様子がうかんできます。



配石遺構



出土した石器

# 速報発掘調査



## 山と海の狭間に生きた先人たち

遺跡名 岡遺跡(第9次、13次、15次)

所在地 日向市大字平岩字四

遺跡の時代 旧石器時代、縄文時代早期・晩期、古墳時代中期、中世～近世

東に日向灘を臨み、西には山々を望む眺めの良い場所に位置しています。旧石器時代から近世までの幅広い時代に渡って遺構・遺物が確認されています。特に縄文時代晩期の遺物が最も多く見つかり、石斧(せきぶ)や石鏝(せきすい)、石鏝(せきぞく)などが多く出土しています。石鏝の大きさは均一ではなく、大きなものから小さなものまで様々な大きさのものが見つかっており、海では大きなもの、川では小さなものを使い分けをしていた可能性が考えられます。



集石遺構(縄文時代早期)



出土した石斧・石鏝・石匙

## “陣”で見つかった昔むかしの道のあと

遺跡名 陣ノ口遺跡

所在地 都城市上水流町

遺跡の時代 中世～近世

大淀川左岸、都城盆地北部のシラス台地上に立地します。調査では赤く変色し硬くなった道の跡を検出しました。埋もれた土の中に1471(文明3)年に噴出した桜島の火山灰が含まれていたため、それ以前に使われていたことがわかります。遺物は土師質土器や陶磁器が出土しました。台地の周りには中世から近世にかけての城跡や合戦時の陣地の跡があり、本遺跡の所在する小字名も“陣”と、当時の名残を残しています。この地域の当時の交通事情を解明する手がかりになるかもしれません。



溝を転用した道の跡



溝の後に造られた道

これらの遺跡は  
ただ今報告書作成中です!!!



宮崎県  
みやぎきだ

## 眺めのよい高台にある集落

遺跡名 長野遺跡

所在地 児湯郡藤岡町大字川北字墳谷

調査の時代 旧石器時代、縄文時代早期、弥生時代後期後半

標高約140mの尾根部の北側斜面で竪穴住居跡が2軒見つかりました。住居跡の大きさは、一辺が約3.5mの隅丸方形(角が丸い四角形)で、住居の床から鉢、甕などの弥生土器のほか、台石、磨石(すりいし)、砥石(といし)などの石器が出土しました。出土した壺などの土器の形から、弥生時代後期後半の人々が生活の場として利用していたことがわかりました。



2号住居跡



1号住居跡出土遺物 碇石・土器

# 普及事業



## 施設公開

「ドキドキワクワク埋文センター」を本館と分館で同時開催しました。センターで行っている遺物の整理作業を体験していただいたほか、土器を持って記念撮影や発掘疑似体験など様々なコーナーで「埋文」を感じてもらいました。また本館では、高鍋農業高等学校のご協力で「農産品・加工品販売」、那珂小学校のご協力で「那珂っ子みどりの少年団ハードカービング作品展示」、宮崎県高等学校文化連盟のご協力で「宮崎県高文連マスコット「ハニア」が埋文にやってくる!」の協力イベントを実施しました。例年にも増して埋文を身近に感じていただけたのではないのでしょうか。



## 発掘体験

都農町の長野遺跡で現地説明会の開催に合わせて発掘体験を行いました。現地説明会に参加した32名のうち、子どもから大人まで14名が発掘に挑戦しました。残念ながら、出土した遺物は少なかったですが、大変熱心に発掘に挑戦し、当時の人々に思いをはせる時間となったようです。



## 出前講座

小林市立紙屋中学校で出前講座を行いました。土器や石器などの遺物に触れて観察し用途を推測してもらい、野尻地区の遺跡について解説しました。また、細文土器の文様を糊で写し取る拓本に挑戦するなど盛りだくさんの講座となりました。野尻地区にも多くの遺跡があることを知って、遺跡をより身近に感じていただけたのではないのでしょうか？



## 宮崎県埋蔵文化財センター通信

ひむか 第14号

発行日 2012年3月1日

編集発行 宮崎県埋蔵文化財センター

<http://www.miyazaki-archiv.jp/maibun/>

本館 〒880-0212

宮崎市佐土原町下那珂 4019 番地

TEL 0985-36-1171

分館 〒880-0053

宮崎市神宮 2丁目 4-4

TEL 0985-21-1600



## 出前講座のご案内

宮崎県埋蔵文化財センターでは、職員が土器や石器などの遺物を持参し、依頼のあった学校や団体の皆様へ、お住まいの地域や周辺の歴史についての話をする「出前講座」を行っています。普及資料課までお気軽にご相談ください。

お問い合わせ

宮崎県埋蔵文化財センター分館  
(普及資料課)

TEL 0985-21-1600